

(19)日本国特許庁 (JP)

(12)公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平9-506350

(43)公表日 平成9年(1997)6月24日

(51) Int.Cl. ⁶ C 07 D 231/12 A 61 K 31/415	識別記号 AAH A B E A B G	序内整理番号 7019-4C 9454-4C 31/44	F I C 07 D 231/12 A 61 K 31/415	C AAH A B E A B G
			31/44	審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全336頁) 最終頁に続く

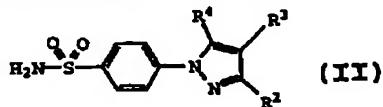
(21)出願番号 特願平7-515611
 (86) (22)出願日 平成6年(1994)11月14日
 (85)翻訳文提出日 平成8年(1996)5月29日
 (86)国際出願番号 PCT/US94/12720
 (87)国際公開番号 WO95/15316
 (87)国際公開日 平成7年(1995)6月8日
 (31)優先権主張番号 08/160,594
 (32)優先日 1993年11月30日
 (33)優先権主張国 米国(US)
 (31)優先権主張番号 08/223,629
 (32)優先日 1994年4月6日
 (33)優先権主張国 米国(US)

(71)出願人 ジー.ディー.サークル アンド カンパニー
 アメリカ合衆国60680-5110 イリノイ州,
 シカゴ, (番地なし) ピー.オー.ボックス
 5110 コーポレイト パテント デパートメント
 (72)発明者 タリー, ジョン ジェイ.
 アメリカ合衆国 63144 ミズーリ州ブレントウッド, パイン アベニュー 8772
 (72)発明者 ベンニング, トーマス ディー.
 アメリカ合衆国 60126 イリノイ州エルムハースト, ラーチ 374
 (74)代理人 弁理士 浅村 皓 (外3名)
 最終頁に続く

(54)【発明の名称】炎症の治療のための置換ピラゾリルベンゼンスルホンアミド

(57)【要約】

炎症および炎症関連疾患の治療のための、あるクラスのピラゾールベンゼンスルホンアミド化合物が記載される。特に興味のある化合物は、式II:



[式中、R¹は、ヒドリド、アルキル、ハロアルキル、アルコキシカルボニル、シアノ、シアノアルキル、カルボキシル、アミノカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキルアミノカルボニル、アリールアミノカルボニル、カルボキシアルキルアミノカルボニル、カルボキシアルキル、アラルコキシカルボニルアルキルアミノカルボニル、アミノカルボニルアルキル、アルコキシカルボニルシアノアルケニルおよびヒドロキシアルキルより選択され；R²は、ヒドリド、アルキル、シアノ、ヒドロキシアルキル、シクロアルキル、アルキルスルホニルおよびハロより選択され；そしてR⁴は、アラルケニル、アリール、シクロアルキル、シクロアルケニ

ルおよび複素環より選択され、ここでR⁴は、置換可能な位置でハロ、アルキルチオ、アルキルスルホニル、シアノ、ニトロ、ハロアルキル、アルキル、ヒドロキシル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、カルボキシル、シクロアルキル、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、アルコキシカルボニル、アミノカルボニル、アルコキシ、ハロアルコキシ、スルファミル、複素環およびアミノより選択される1つまたはそれ以上の基により随時置換されている（但し、R²およびR⁴は、両方がヒドリドではなく；さらに但し、R²がヒドリドであり、かつR⁴がフェニルである時、R²は、カルボキシルまたはメチルではなく；さらに但し、R²がメチルである時、R⁴は、トリアゾリルではなく；さらに但し、R²がカルボキシル、アミノカルボニルまたはエトキシカルボニルである時、R⁴は、アラルケニルではなく；さらに但し、R²がメチルであり、かつR⁴がカルボキシルである時、R⁴は、フェニルではなく；そしてさらに但し、R²がトリフルオロメチルである時、R⁴は、非置換チエニルではない）]により定義されるか、またはその薬剤学的に許容される塩である。

THIS PAGE BLANK (USPTO)